

【平成27年度第一回動物実験委員会議事録】

日 時 平成27年 4月20日(月) 15:30~15:50

場 所 小倉北区キャンパス記念館3F会議室

出席者 副学長 山田 千秋  
南区 CP 副学長 橋元 隆  
学部長 喜多 大三 (食物栄養学部) 高橋精一郎 (リハビリテーション学部)  
学科長 大澤 得二 (大学 食物栄養学科・研究科長)  
小川 洋子 (短大 食物栄養学科)  
実験に携わる研究者 中岡 寛 (短大 食物栄養学科) 奥野 悦生 (食物栄養学部)  
藤野 博史 (食物栄養学部)  
人文系教員 吉田 正史 (食物栄養学部)  
その他の教員 千代丸信一 (リハビリテーション学部)  
事務担当 日隈 功二 (庶務課長)

- (議題) 1. 平成27年度動物実験委員会メンバーの確認  
2. 委員長選出について  
3. 平成27年度実施予定動物実験の審議  
4. 平成27年度動物実験委員会年間スケジュールの決定  
5. 「研究機関等における動物実験の実施に関する基本指針」等の遵守状況に関する調査の回答について。

1. 平成27年度の動物実験委員会の構成員は職責による充職委員及び昨年度末の委員会において委員長より推薦があった委員となり下記のとおりであることが紹介され、任期は本年度より2年であることが確認された。引続き委員長の選任を行い藤野教授(食物栄養学部)に続投を依頼したが同氏より退任の意向が伝えられ大澤教授(食物栄養学部)を推薦されたため議場に諮ったところ委員満場一致をもって承認され、大澤得二教授を委員長に選任した。

[委員構成] 副学長 山田 千秋  
南区 CP 副学長 橋元 隆  
学部長 喜多 大三 (食物栄養学部)  
高橋精一郎 (リハビリテーション学部)  
学科長 大澤 得二 (大学 食物栄養学科・研究科)  
小川 洋子 (短大 食物栄養学科)  
実験に携わる研究者 藤野 博史 (食物栄養学部)  
中岡 寛 (短大 食物栄養学科)  
人文系教員 吉田 正史 (食物栄養学部)  
その他 千代丸信一 (リハビリテーション学部教授)  
日隈 功二 (庶務課長 事務担当)

2. 平成27年度実施予定の動物実験申請（計画）3件が提出され審査が行われた。

- (1) 申請者 大澤得二教授 九州栄養福祉大学食物栄養学部「ラットの解剖実習」後期実施
- (2) 申請者 中岡 寛教授 東筑紫短期大学食物栄養学科「ラットの解剖実習」前期実施
- (3) 申請者 奥野悦生教授 九州栄養福祉大学食物栄養学部「マウスの食品成分投与による内臓脂肪の減少」

各々提出された動物実験申請書（兼計画書）を基に、実験の内容及び処置方法等について申請者よりの説明を求め実験の必要性、実験内容についての審査を実施した。

申請された3件のうち(1)(2)は例年実施されている授業での学生実験であり計画通りの実施を容認する事が確認され学長に答申することとされた。

(3)の動物実験については申請者の奥野教授より実験の目的および内容について概略の説明を受け、これに対し出席委員よりこの動物実験にて期待する結果、過麻酔の方法や器具等、実験のソフト、ハード面においての問題点の有無等についての質問があり、申請者から詳細な説明がなされたので委員会としては妥当性を認め計画通りの実施を容認し学長へ答申することとした。

3. 本年度の動物実験委員会の活動スケジュールとして以下の事項の確認がなされた。

(ア)「教育訓練の実施時期と内容」

(イ)「実験終了時の実施状況の報告と自己評価」

(ア)については例年とおり小林先生（九州歯科大学名誉教授）を講師にお招きして実施することとし、実施時期については打ち合わせの上事務局に一任。

ただし、小林先生は昨年第一線を退かれているが問題ないか担当部局に確認してはどうかとの意見があった。

(イ)については後期予定の動物実験終了後来年2月ころを目処に実施することを決定した。

4. 「研究機関等における動物実験の実施に関する基本指針」等の遵守状況に関する調査の回答について。

本項目については毎年実施されている調査であるが、今回新たに追加された項目について本学としての回答を確認した。

その中で自己点検・評価の当該研究機関以外の者による検証の実施に関する設問については、どのような外部機関を想定しているのかを担当部署に確認した上で回答を作成することとなった。

以上

平成27年度 動物実験に係る教育訓練

日 時	平成27年 10月 27日 (木) 16:30～18:35
場 所	小倉北区キャンパス 2号館 701講義室
講 師	九州歯科大学名誉教授 小林 繁 先生
演 題	「九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 動物実験に関する教育訓練2015 －動物実験の適正な実施に向けて－」
参加者	九州栄養福祉大学食物栄養学部、リハビリテーション学部及び 東筑紫短期大学の実験担当者、補助者、大学院生等 (参加 21名)
講演内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 定義：動物実験と実験動物</li><li>2. 研究機関における動物実験の実施に関する基本指針の課題と対応</li><li>3. 必須事項：基本指針への具体的対応</li><li>4. 動物実験関連法令・指針</li><li>5. 動物の愛護及び管理に関する法律</li><li>6. 実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準</li><li>7. 動物実験の倫理</li><li>8. 動物実験概論</li><li>9. 麻酔法と安楽死法</li><li>10. 実験動物の感染症</li><li>11. 遺伝子組換え動物の取扱い</li><li>12. 人獣共通感染症と対策</li></ol>

本学動物実験委員長 大澤得二教授より本講習会の意義と講演者のプロフィール紹介に引続き小林繁先生による講演が行われた。動物実験に関する基本的な注意点、遵守事項等の説明に加え大学、研究機関における動物実験に関する教育訓練の内容についての必須事項及び本年度の改正では従来の自己点検及び評価に検証が追加されたこと等の解説がなされた。

講演後の質疑応答では情報公開の媒体選択等についての質問がなされ各媒体の特徴及び他大学、研究機関等の状況について意見交換がなされ講演を終了した。

平成27年度動物実験に係る教育訓練参加者名簿

短大

小川洋子 教授 (食物栄養学科長)  
中岡 寛 教授  
吉富沙也 助手 (実験担当助手)

大学

大澤得二 教授 (食物栄養学科長 動物実験委員長)  
喜多大三 教授 (食物栄養学部長)  
奥野悦生 教授 (食物栄養学部)  
吉田正史 教授 (人文系)  
橋元 隆 教授 (リハ学部 南区CP副学長)  
高橋精一郎 教授 (リハ学部学部長)  
廣滋恵一 教授 (リハ学部)  
村田奈保子 講師 (リハ学部)  
倉崎信子 講師 (食物栄養学部)  
内田 薫 助教 (食物栄養学部)  
南 育子 助教 (食物栄養学部)  
大森 愛 助手  
永井智子 助手  
高尾美由紀 助手  
渡邊江里奈 助手  
千草友美 助手  
満生いずみ (大学院生)  
日隈功二 (事務担当)

以上21名

【平成27年度第二回動物実験委員会議事録】

日 時 平成27年11月 9日(月) 15:30～15:45

場 所 小倉北区キャンパス記念館3F会議室

出席者 副学長 山田 千秋  
南区 CP 副学長 橋元 隆  
学部長 喜多 大三(食物栄養学部) 高橋精一郎(リハビリテーション学部)  
学科長 (議長) 大澤 得二(大学 食物栄養学科・研究科長)  
小川 洋子(短大 食物栄養学科)  
実験に携わる研究者 奥野 悦生(食物栄養学部)【申請者】  
藤野 博史(食物栄養学部) 中岡 寛(短大 食物栄養学科)  
人文系教員 吉田 正史(食物栄養学部)  
事務担当 日隈 功二(庶務課長)

欠席者 千代丸信一(リハビリテーション学部)

(議題)

1. 動物実験申請書の審議(申請者 奥野悦生教授)  
「マウスの食品摂取によるストレスの軽減」

(審議経過)

冒頭、大澤委員長より本日の動物実験委員会の招集について11月2日付けでの動物実験申請書(兼計画書)での申請があった旨の説明がなされ審議が開始された。提出された「動物実験申請書(兼計画書)」を基に申請者である奥野悦生教授より実験の目的及び内容について詳細な説明を受けた。

申請者からは昨年も同様の実験を実施したが結果について傾向性がある等漠然とした結果しか得られなかったため、今回はより調査項目を絞った抗ストレス作用の検証を行うための追実験的性格であるとの説明があった。

内容について委員数名より食品成分の具体的投与方法、安楽死の方法と選択理由、実験に参加する学生への基本指針及び本学規定を含めた教育指導の方法等、また文系の先生より苦痛(カテゴリー)の概念についての質問があり、奥野教授から今回の実験については当然基本指針及び本学諸規定を理解した上でデータを取るために最小限度の実験動物数(14匹)とし食品成分(リモネン)の投与は直接腹腔内への投与(奥野教授に指導の下に学生と共に進行)、安楽死については教授自らが行うこと、参加する学生については先に行われた教育訓練の内容に則して奥野教授が学生に指導すること等が説明され、委員会としての本動物実験についての可否を議場に諮ったところ妥当であると認め、学長への答申を行うと共に大学、短大の各教授会への報告を行うこととして閉会した。

以上

【平成27年度第三回動物実験委員会議事録】

日 時 平成28年 3月22日(火) 14:20～14:40

場 所 小倉北区キャンパス記念館3階会議室

出席者 副学長 山田 千秋

南区CP副学長 橋元 隆

学部長 喜多 大三(食物栄養学部) 高橋精一郎(リハビリテーション学部)

学科長 (議長) 大澤 得二(食物栄養学科長・研究科長)

小川 洋子(短大 食物栄養学科)

実験に携わる研究者 中岡 寛(短大 食物栄養学科)

人文系教員 吉田 正史(食物栄養学部)

その他(報告者) 奥野 悦生(食物栄養学部)

事務担当 日隈 功二(庶務課長)

\* 藤野博史(食物栄養学部特任教授)、千代丸信一委員(リハビリテーション学部教授) 所用のため欠席

- (議題) 1. 平成27年度実施された動物実験結果報告と内容審議  
2. 平成27年度動物実験についての自己点検評価について  
3. その他

1. 平成27年度に実施承認された下記4件の動物実験について各申請者より動物実験の結果について報告がなされ内容について審議がなされた。

(1) 東筑紫短期大学食物栄養学科「ラットの解剖実習」 申請者 中岡 寛教授(前期実施)

(2) 九州栄養福祉大学食物栄養学部「ラットの解剖実習」 申請者 大澤得二教授(後期実施)

(3) 九州栄養福祉大学食物栄養学部「マウスの食品成分投与による内臓脂肪の減少」申請者  
奥野悦生教授(後期実施)

(4) 九州栄養福祉大学食物栄養学部「マウスの食品成分投与によるストレスの軽減」申請者  
奥野悦生教授(後期実施)

実施された上記4件の動物実験について提出された「動物実験結果報告書」にて申請者より内容の説明がなされ当初の「動物実験申請書(兼計画書)」の内容との整合性及び実施された動物実験の適合性について審議した結果申請通りの実施がなされ適正に実行されたことを確認し承認された。

2. (議長) 大澤教授より平成27年度中に実施された動物実験の基礎となる規定及び体制の整備状況と実施状況について検証する自己点検結果を取り纏めた結果報告がなされ評価報告書が提出された。

委員会において報告内容の確認がなされ異議無く承認され、自己点検・評価報告書を公開することが確認された。

以上をもって予定議案を全て終了し、この場で審議するその他の議案も示されなかったので議長は議事の終了を宣した。